

SRノート 2025年 山下クラス

山下の部屋 学習アドバイス第3回 水道橋 2025・1・6

■合格体験記 2024年合格目標水道橋本校平日中上級コース

◇受験回数 6回

◇過去の点数 ※(選・択)はその年の合格基準点

○令和元：選択23点・択一24点(選26・択43)

○令和2：選択26点・択一41点(選25・択44)

○令和3：選択26点・択一44点(選24・択45)

○令和4：選択32点・択一47点(選27・択44) ※選択式労一2点・社一2点→基準割れ

○令和5：選択33点・択一49点(選26・択45) ※選択式雇用2点→基準点割れ

○令和6：選択33点・択一49点(選25・択44) ※合格

◇得意科目 国民年金、厚生年金

(得意ではないですが、安定して点数が取れるようになったので)

◇苦手科目 労災、雇用、一般常識

◇勉強時間 平日は**最低でも2時間**は確保するようにしました

◇時間の作り方

朝の出勤前、夜の帰宅後、在宅勤務時、移動時間、待ち時間、空いている時間はとにかくすべて勉強に費やしました。歩きながら覚えた箇所を一人芝居でぶつぶつ唱え、セリフに詰まった箇所はスマホに音声メモして、後からテキスト等で確認しました。

◇道場のおすすめ

○解き方講座の過去問集とサブレジュメの古い過去問集を、講義の進捗に合わせて繰り返し読み、解きました。直前期は**100の法則**と、8月は解きまくりの絞り、毎日各科目を横に解く(8月5日であれば問題番号の下一桁5の問題5, 15, 25...を解く)、朝は労働科目、夜は社会保険、など偏らないように、また頭の切り替えを意識しました。

○**1・2・3を読み、テキストに戻り、1・2・3に書き込み、もう一度読む**。問題を解いたら1・2・3を読み、テキストに戻り、1・2・3に書き込み、もう一度読む。各科目を横断して、リンクページを1・2・3に書き込み、もう一度読む、をひたすら繰り返しました。常に選択式を意識して一字一句丁寧に、数字だけでなく1つのフレーズとして覚えました。どうしても覚えられない箇所、まちがえたり、あやふやな箇所は、ノートに書いて頭に刷り込みました。

◇模試の点数

成績上位者に載っても油断禁物、模試はモシ=if、各科目選択3点・択一6点以上をキープすればOK、あくまでも現状の理解度の把握と、とりこぼしている箇所の確認のため、なおかつ本試験の練習と思って丁寧に、シュミレーションしながら受験しました。今年はずべてA判定で、特に択一に関しては点数が安定していたので、思い切って選択式対策に重点を置いて日々の学習をするようにしました。

◇体験記

★1年目：知識も実務の経験もないまったくのゼロベースから一念発起、他校の通学コースに通いましたが、講義についていくだけで精一杯、年金科目は全くわからず、5月についてドロップアウト。以後学習をしないまま、本試験はただ受けるだけの記念受験でした。

★2年目：通学で勉強を続ける自信がなく、自分のペースで学習できる通信講座（他校）を選びましたが、カリキュラムをこなすだけで精一杯。直前期に入ってから送られてくるテキストの山が積み上がる一方、自分がどこまで理解できているのか、できていないのかすらわかりませんでした。

★3年目：そうは言いつつ2回目は点数が上ったので、独学での勉強を決めました。結果は不合格。努力しても届かない目標があることを思い知らされ、落ち込みました。

★4年目：独学には限界がある、通学アレルギーなどと生半可なことを言っていたら一生合格できない、と思い、まずはLECに通うことを決めました。たまたまスケジュールが合ったのが水道橋校で、お試し受講したのが山下先生の平日クラスでした。目からうろこの講義内容と先生のお人柄に感銘を受け、その場で受講を決めました。

解き方講座、5月の道場、前日講座、山下先生の講座は全て申し込み、毎回教室で生講座を受講しました。

本試験では初めて択一式で合格基準点をクリアできましたが、選択式が基準点割れで2点足りず不合格。

★5年目：今年こそ！と気合十分。模試の点数もあがり、実力がついてきていることを感じられる1年でしたが、選択式で1点失点。初学者でも取れるレベル1の問題を落としてしまい、本当に悔しく、後悔してもしきれない結果となりました。

★6年目：人生で一番勉強しました。開講直後、中上級は今から科目横断しなさい、と先生がおっしゃったことを常に念頭に置き、先生に言われたことはとにかく何でも全てやりました。本試験後の解答速報では合格基準点をクリアできていましたが、択一の健保が4

点ギリギリだったので、もしマークミスをしていたらどうしよう、と気が気ではなく、発表までの1か月間は何も手につきませんでした。合格者一覧に自分の番号を見つけたときは嬉しくて、電車の中でしたが涙が止まりませんでした。

◇最後に

この3年間、心が折れ、モチベーションが下がったときも、教室に行って山下先生の授業を受けるといつも元気になり、常に力強く引っ張ってくださる先生を信じて付いて行きました。乗り入れ制度は一度も利用せず、山下先生の授業だけを受講しました。

先生の小話「おとうさんシリーズ」、1年目は半分しか理解できなかったのが、2年目はブラックジョークと笑えるようになり、3年目はオチまで言えるようになりました。

試験当日、会場に向かう電車が高尾山行きだったので、先生の小話を思い出して笑い、運が味方してくれている！と強い気持ちで試験に臨むことができました。

午前中の選択式劣一の答え、前日講座の統計からの出題でした。マークシートを塗りつぶしながら思わず笑ってしまいました。午後の択一式、各科目で先生のヤマが当たりすぎていて、もはや驚かなくなりました。

この合格は、一貫校で受験を経験したことのなかった私が、人生で初めて手にした合格です。山下先生との出会い、ご指導がなければ決して成し遂げることはできませんでした。また、ずっと支えてくれた家族をはじめ、応援し続けてくれた友人達、職場の上司にも感謝の気持ちでいっぱいです。長く辛い道のりでしたが、無駄なことは一つもありませんでした。本当に、本当に、ありがとうございました。

■ 1月に入りました。

1.受験アドバイス

■ 初学者

1月最初の講義は労災保険でした。いよいよ本格的な保険制度が始まります。

最初は???でしょう。相当因果関係とは・・・。業務上外。勉強を進めていけば慣れます。

試験科目全体の法律の量は膨大です。そして、受験勉強にはいろんな方法があります。

しかし、社会保険労務士試験で問われる内容は**有る程度限定**されています。

基本事項をしっかり押さえ、試験で問われているポイントは説明します。

難解な箇所は無視です。合格に必要な知識は10年分の過去問にヒントがあります。

繰り返し出題されている箇所の知識を確実に身に付けましょう。これが**短期合格の方法**です。

次に大事なものは「**自己管理能力**」です。今年絶対合格するという気持ちで学習しましょう。

最初から全てを理解し、記憶することは必要ありません。まずは、法律用語等に慣れること

です。繰り返しテキストを読むことから始めましょう。多少の疑問点があっても先に進むこと
です。受験勉強をする途中で受験生は立派に成長していきます。

時間が無い・業務が忙しい・年だから暗記が苦手・勉強の場所が無い・今年は練習・知識を
学べれば十分・私には無理等は禁句です。マイナスの発想はマイナスです。限られた時間を
有効に活用しましょう。

■ 再受講生

受験を決めた以上最初の目的を見失わないこと。再受講生のなかには複数回の受講生の方
もいるでしょう。今年の試験でも択一式は40点以上取れているが、選択式が取れず再起を
かける方もいると思います。決してあと数点だから直前に追い込めば何とかなるはダメで
す。前回の勉強量の1.2倍は必要です。前回勉強した知識や経験を無駄にしてはなりません。

1 各科目の横断を意識する 労基法と労働契約法・最低賃金・労働組合法

科目横断は最初から行う。労基法の就業規則と労働契約法の関係は??

労基法の判例と労働契約法、労働組合法の判例は?

2 保険関係は横断学習で勉強時間の短縮ができる。

例：任意加入

労災保険の暫定任意⇒雇用保険の暫定任意。⇒徴収法

社会保険適用事業の任意加入。健保の任意継続。国年の任意加入。

厚生年金の高齢任意。・・・これを一気に過去問で見る。

これで任意関連の問題はまとまる。時間が短縮できる。

3 過去問

解くから見るへ。まずは過去問の誤り問題の解説をみる。問題文のどこが誤りなのか？含む、除く、日後、以前、翌日、数字、行政名等……。解説から読む。そして問題文へ。あとは誤りの問題へと進む。これで試験問題の出題傾向が分かります。

4 法律の趣旨や沿革を再確認

沿革を学ぶと法律が理解できる。具体的には通達の年号や過去の大きな法律の改正点です。立法の趣旨はとても、とても、大事です。

★判例講座

1月14日（火）19時～21時30

1月15日（水）19時～21時30

★合格講座（休日クラス）1月

1月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
4日	土	労災① 労災②	1回目は業務災害と心理的負荷が中心です。 労基法との関係をお話します。 2回目は通勤災害です。これはしっかりと押さえます。
11日	土	労災③ 労災④	保険給付に入ります。保険給付のおおきな流れを描きましょう。遺族がポイントです。
12日	日	労災⑤（17時から）	特別加入がポイントです。
18日	土	労災確認テスト 雇用① 雇用②	雇用保険に入ります。昔の失業保険です。 細かな数字や専門用語が一杯です。 これも慣れです。
25日	土	雇用③ 雇用④	育児関連がポイントです。
26日	日	雇用⑤（17時から）	雇用の総まとめを行います。

★中上級（休日クラス）1月

休日クラスは10時30分開講です。休日クラスは早めに教室へきてください。

自宅から学校までの時間は予習です。帰るときは復習です。この繰り返しが努力です。

講義10分前から何か話しているかもしれません。

1月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
12日	日	労災① 労災②	そろそろ横断学習も考えましょう。 労基法との関係。過労や心理的負担が中心です。
13日	日	労災③ 労災④	保険給付の流れの中で横断をしてください。 療養補償給付→健保・国保 休業補償給付→健保の傷病手当金 遺族補償給付→国年、厚年の遺族関連
19日	日	労災確認テスト 労災予想テスト	70%を目標に。
26日	日	雇用解き方① 雇用解き方②	雇用保険の出題傾向を確認しましょう。

★中上級（平日クラス）12月

1月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
6日	月	労基法確認テスト	択一70%が目標
7日	火	労基法予想テスト	選択式の解き方を説明します。
8日	水	労災解き方①	過去問で出題傾向を
9日	木	労災解き方②	業務上と心理的負荷がポイント
16日	木	労災①	最初から横断。労働者の定義等
21日	火	労災②	給付の流れ
22日	水	労災③	労災独自給付に注意
23日	木	労災④	不服や、時効は他の科目と横断してください。
27日	月	労災確認テスト	70%目標
28日	火	労災予想テスト	選択対策
29日	水	雇用解き方①	雇用保険の出題傾向
30日	木	雇用解き方②	雇用保険の流れ